



校舎へと続く長い坂道には桜の花びらの絨毯が広がり、音戸町と倉橋町の架け橋であるこの呉市立明德中学校にも、出会いの喜びと始まりを感じさせる季節がやってきました。

本校は、倉橋島のほぼ中央に位置し、とても豊かな自然に恵まれています。

4月7日の入学式で、新入生11名を迎え、全校生徒35名（新3年生14名、新2年生10名）で令和4年度をスタートしました。

明德中学校の生徒には、今後予想される予測不可能な激動の時代を生き抜くため、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力」を、しっかり身につけてもらいたいと考えています。それは、大人になっていく上で直面する様々な問題に、自ら取り組み、乗り越えていける力であり、自分の限界を自分で作ることなく、向かい風を受けながらも、自分なりのチャレンジを続けていく力です。

明德中学校の教職員は、そのような力を、授業をはじめとする学校生活の中でしっかり育ていけるよう、生徒に寄り添い、成長を支援していきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



令和4年4月 呉市立明德中学校 校長 畑尻 佳括